

高等学校 2年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 大単元「 第三章 生涯を通じる健康 」 小単元（ 健康的な職業生活 ）

2 単元について

生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、傷害の各段階や労働における健康問題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要がある。

このため、本内容は、思春期、結婚生活、各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること、また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること、それらを踏まえ、自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること、労働に関わる社会資源などを適切に活用することなどを中心に構成している。

3 単元の目標

知識・技能	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題解決に役立つ環境、食品野保健、及び社会環境づくりが重要であることの基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようにする
思考力・判断力・表現力等	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題解決に役立つ自らの適切な対応及び社会環境づくりが重要であることについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

当該授業のクラスは静かな生徒が多く、先生の問いに対して反応が薄い。その為、少人数でのグループワークを多く取り入れ生徒が主体となるような授業を推奨する。高校生の時期は心身の成長にとって大事な時期であり、生活習慣が整っていることが今後の影響にしていけると思われる。「働く」ことに対して、ずっと座り続けている、残業が多い、時間がなく不規則な生活をしがちと感じる生徒が多い傾向にある。

指導にあたっては、現代の働く人のストレスや精神的な不調が大きな問題となっている。また、社会的にメンタルヘルスケアが実施されている一方で、ハラスメント行為も増加している事も確認させる。その結果、余暇活動が社会で働く際にどのような影響を与えているのかを考えさせたい。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、傷害の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯に通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	ライフステージと健康			
2	思春期と健康			
3	性意識と性行動の選択			
4	妊娠・出産と健康			
5	避妊方法と人工妊娠中絶			
6	結婚生活と健康			
7	中高年期と健康			
8	働くことと健康			
9	労働災害と健康			
10	健康的な職業生活 <ul style="list-style-type: none"> ・職場における健康増進活動 ・メンタルヘルスケア ・ハラスメント対策 ・多様な働き方や生き方への支援 ・余暇の確保 		○	

7 本時の展開

本時の目標

- ・職場が行う健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。
- ・余暇を積極的にとることについての意義を知る。

②展開

段階	学習活動【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 5分 伊藤	<p>○挨拶、出席確認</p> <p>○本時の目標・内容確認</p> <p>【自分と同世代の転職率を知る】</p> <p>○グラフを提示して何を表しているか考えてみよう</p>	<p>○初めにワークシートを配布する。</p> <p>○単元の内容について説明、確認する。</p> <p>○資料②の転職率のグラフを見せる</p>
展開 35分 今野	<p>【ハラスメントの種類、意味を知る】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問1：今の時代ハラスメント問題は何なのか。</p> </div> <p>○転職率低い理由について知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の反応：パワハラが増えている・過度な労働・性的問題</p> </div> <p>○周囲の人と話し合う。(5分)</p> <p>○生徒に実際に体験してもらう。</p> <p>・上司と部下の関係の違いによる感じ方の違いが存在することを認識させる</p>	<p>・グループに分かれる前に。ハラスメントとは、他者を困らせる「嫌がらせ」や「いじめ」などの行為をすることだと伝える。</p> <p>・転職率が多い結果である要因として、ハラスメント問題、履歴書が汚れて再転職しづらくなることを生徒に例を出して伝える</p> <p>○それぞれの事例をワークシートで予想させ、生徒の認識の確認を行う</p> <p>○クラスを巡回する</p> <p>○指名して発言させる</p> <p>○それぞれの事例をワークシートで予想させ、生徒の認識の確認を行う</p> <p>○ワークシートを穴埋めするように指示</p> <p>・上司と部下の関係の違いによる感じ方の違いがあることを説明する</p> <p>○ハラスメントがなくなる理由には、個人の要因としてはいけないことを正しく知らない「無</p>

	<p>○職場内で発生するハラスメントの種類を知る。</p> <p>・職場で発生しやすい代表的なハラスメント 3 種類と次いで事例が多い 3 種類を学ぶ (5分)</p> <p>○事例を聞いて今の労働基準法を知る</p> <p>【世界と日本の休暇について知る】</p>	<p>知」と、自分の行為がハラスメントに該当することに気づかない「無自覚」があること。組織風土による要因があることを伝える。</p> <p>○広告大手代理店「電通」の事例を話し、なぜこのようなことが起きてしまったのか伝える。</p> <p>○サブロク協定について具体例をあげながら説明する</p>
井上	<p>発問2：皆さん休日の日なにしていますか。</p>	
	<div data-bbox="272 750 748 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される生徒の反応：</p> <p>・家でゴロゴロ、ゲーム、友達と遊ぶ、買い物、寝る</p> </div> <p>(2分)</p> <p>・考えた内容を周囲の人と共有する。(2分)</p> <p>○p 97 を提示 (資料2)</p> <p>○働き方改革という名称で自分の都合により合わせた多様な働き方を選択できるようになっている。</p> <p>→働く労働者第一優先の考え方に変化している。</p> <p>○p 97 を提示 (資料3)</p> <p>○休日(余暇)の大切さを説明する。</p> <p>○労働基準法による労働者の権利、有給休暇がアルバイト、パートを含めた労働者にとっていいことを説明する。</p> <p>【これまでの授業を聞いて考えたことを周囲の人と話し合おう】</p>	<p>○クラスを巡回する</p> <p>○指名して数名発言させる</p> <p>○p 97 を提示 (資料2)</p> <p>・しっかり観察させる</p> <p>・世界と日本を比べさせる</p> <p>○p 97 を提示 (資料3)</p> <p>○余暇とはなにか</p> <p>・余暇をとることで心身のリフレッシュと健康で生きがいに満ちて働くことを可能にする。</p> <p>ことを説明。</p>
伊藤	<p>発問3：これから働くにあたっての優先順位は何か。</p>	
	<p>○個人で考える。</p> <p>○グループで共有</p> <p>○ハラスメント対策について資料①の</p>	

	内容の携帯を活用して知る	<p>○資料①のサイトを見させ、困った時どうすればよいのか見てわかるサイトがあることを説明する。</p> <p>◇思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <p>【A 評価するポイント】</p> <p>生涯を通じる健康に関する情報から課題自ら発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を具体的に思考し判断しているとともに、習得した知識を表現している。</p> <p>C 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに参加している <p>C 評価の生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書き出せていない生徒に対して個別指導をする。
ま と め 10 分 伊藤	<p>○本時のまとめ、振り返り</p> <p>○ワークシート回収</p> <p>○号令・挨拶</p>	<p>○生徒数名発言させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業を通して学んだこと、気づいたこと、感想などを発表させる <p>○将来働くにあたっての注意、呼びかけ</p> <p>○この授業を通して働くことのイメージをつける</p>

8 板書計画

10 健康と職業生活
転職率グラフ 資料②

発問1

ハラスメントについて

発問2

余暇について

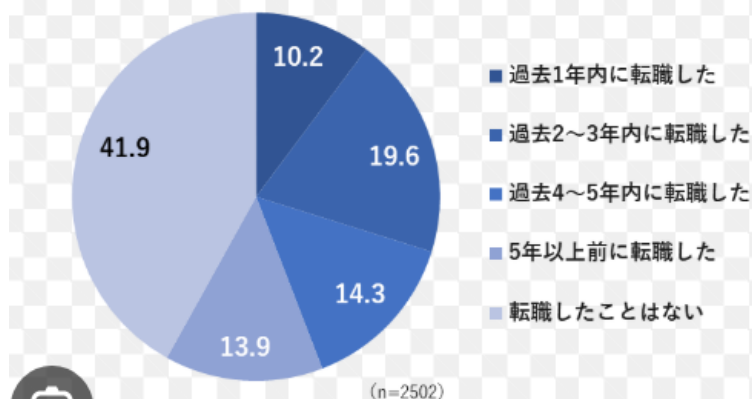
9 資料

資料①



資料2

Q. あなたはこれまでに、実際に転職をしたことはありますか。
また、それはいつ頃ですか。



<https://images.app.goo.gl/7TRNAuSA3nRDhaTQ9>